

『世の終わり』

<https://www.youtube.com/watch?v=7ckyQzK5Sxk>

おはようございます。ようこそ。これは、日曜日の朝の第一礼拝です。私たちは、2つの礼拝をおこなっています。第二礼拝は、神の御言葉を節ごとに学ぶ「聖書の学び」です。これは第一礼拝で、毎週の「聖書預言・アップデート」です。ハワイ時間、11時15分からライブ配信する、第二礼拝にもご参加されることをお勧めします。今日は、実は「聖書預言・アップデート」と結びついています。

私たちが知っている人類史最後の時である 危険で恐ろしい時代に関する、第二テモテ3章1~5節の預言についてお話します。それについては、「聖書預言・アップデート」でもお話します。また、まだの方は、私たちの新ウェブサイト「JDFarag.org」をご覧ください。現在、追加で作業中ですが、それに関して、皆さんのお祈りと、ご忍耐に感謝します。御心であれば、近いうちに第2段階を開始したいと思っています。また、この件に関してお祈りをお願いしてきています。この建物上にある携帯アンテナの移設についてです。どうか、主が皆さんの心に置いてくださいますように、それは、非常に簡単なことです。ただ、「主よ、あのアンテナを撤去し、移動させてください。」とお祈りください。そのように祈っていただくだけで十分です。私たちは、契約解除のために、合法的にできる限り全てのことをしました。あとは主に委ねています。主において、実際にアンテナが撤去されることを信じています。私たちは、彼らが移設場所を見つけることを祈っています。これに関して皆さんのお祈りに感謝します。そして最後にお伝えしたいのは、私が数週間休暇を取ることです。その間、副牧師のマックが、代行で説教してくれます。今週の木曜日、ハワイ時間午後7時半からライブ配信する、クリスマスイブ礼拝は私がおこないます。その後の数週間は休みを取り、家族と一緒に過ごし、主と一緒に過ごし、それから説教壇に戻ります。御心なら、私たちがまだ地上にいれば、1月10日(日)に戻ってきます。では、本題に入りましょう。今日のアップデートでは、世界の全出来事が、世の終わりを指している理由についてお話ししたいと思います。世の終わりとは、この時代の終わりを意味し、7年間の患難前携挙から始まり、主の再臨で終わります。そして神の王国、別名千年王国へと続きます。先週、ある言い習わしについて考えていました。何かがうまくいかない時や、何かが本当に悪そうに見える時に、よくこう言われます。「まあ、少なくともこの世の終わりではない。」それについて、皆さんにちょっとお時間を差し上げましょう。そんなことを考えているうちに、あることが頭をよぎりました。私たちは、「この世の終わりではない。あるいは終わりなのか？」と言うべきではないのかと。今や、携挙前のこの世についての記述が、まさに今日の世界の状況通りであるのは、聖書預言を見れば一目瞭然です。こんな風に言わせてください。私は、これが終わり方だと心の底から確信し、信じています。3月、正確には、3月29日に遡りますが、聖書預言・アップデートの中で、私は、COVID-19/コロナウイルスによって終わりが来ると述べました。これが、終わり方です。終わりです。ここには皆さん誰もいらっしゃいませんでした。私たちが嘘を信じて、扉を閉めていたからです。因みに、二度とするつもりはありませんが、主を褒めたたえます。一拍手しかし、3月29日はライブ配信だけをし、私はそう発言しました。それは、私のメモにはありませんでした。それは、例えば何かを言った後になって、「なんということ！今のは自分の口から出たことなのか？」「そうですよ。」「いや言っていないかも？」「いいえ言いました。」というたぐいです。そして、私は主にそのことを尋ね、今や2020年の終わりを迎え、私は、このようにして終わる

のだと心の底から信じています。これが終わり方です。皆さんがご存知なのを願い、また強く聞こえるかもしれませんが、言わせていただきます。かつて、私たちが知っていた世界は、もう存在せず、私たちが、かつて知っていた以前の世界に戻ることは決してありません。お許しいただけるなら、仮説、言わば例えを使ってこれを説明し、示したいと思えます。例えと言う方が良さそうですね。これは、昏睡状態から目覚めた人という例え話、仮の話です。想像してみてください。1980年末に昏睡状態に陥った人がいたとして、40年後の2020年の終わりに覚めたとしましょう。また、この方は、聖書預言を知る新生した信者で、1980年当時、私たちの親しい友人だったとしましょう。これは私の例え話ですので、何でもありです。お許してください。さて、この異様な世界に早送りしてみましょう。2020年の終わりを迎え、その親しい友人が目覚めます。私たちは、彼に近況を知らせようとしています。「君に言わなきゃならないことがたくさんあるよ。この40年間、色々なことがあったんだ。なんということ！」と。しかしそのためには、目覚めるまで40年間もの昏睡状態に陥った1980年当時、彼らの世界がどのようなものであったかを考える必要があるでしょう。それでは、始めましょう。1980年、世界の人口は40億人を少し超えたほどでした。今、2020年は、ほぼ倍増の80億人で、それは、ビル・ゲイツのような人にとっては問題です。そこまでにしておきます。それで十分でしょう。1980年、米国の住宅価格中央値は、—お聞きください—47,200ドルでした。2020年の3月時点で、米国の住宅価格中央値は、320,000ドルになりました。私がこれら話すのには理由があります。これら全ては預言的に重要なことです。このことについては、数週間前の預言アップデートで話しましたが、黙示録の中に、患難時代のハイパーインフレーションに関する預言があります。因みに、人口（ポピュレーション）で言えば、（“レーション”が沢山出てきますね。）40年で倍増しています。考えてみてください。これはまさに、終わりの時に起こると聖書で言われていることです。だからこそこれは非常に意義深く、重要なのです。さて、続けましょう。1980年、ワヒド・ファラグという名前の男性、別名、J.D.ファラグは、高校を卒業しました。さて、なぜこれがここに書かれているのか分かりませんが…確かに私が卒業した年です。辛うじて卒業しました。誇れることではありませんが。何ということでしょう。1980年、エジプトは、イスラエルとの国交を完全に正常化しました。実際は、1980年1月のことです。2020年、多くの湾岸諸国がイスラエルとの関係を正常化しています。再度、終わりの時に彼らがまさにそうすると、私たちが言われた通りです。1980年のテクノロジーについて話しましょう。あったのは自動車電話だけで、一部の人がしか持っていませんでした。2020年の今、全ての人向けの、何でもできる携帯電話があります。手に持ったり、ポケットに入れることのできる技術が、ほんの40年でここまで進化しています。1986年、登場したばかりの、初めて購入した携帯電話を覚えています。モトローラ8000です。愛情を込めて「レンガ電話」と呼ばれています。皆さん、思い出されますか？その重さから、モトローラ“8000”と呼ばれていたのだと思います。それを足の指に落とすと、骨折で入院するほどです。ものすごく大きくて、画面といえば…なんということでしょう。数字はモノクロで、あの琥珀色の、、、小売価格、3500ドルでした。それを使ってできるのは、契約していれば、電話をかけることだけでした。聞いてください。若い方々には、到底想像できないでしょう。これはテキスト（携帯メール）が存在する前の話です。「嘘～～～！！」本当です。いかがでしょう。1980年です。40年前。いいでしょう。この時点で、COVID-19/コロナの事を話す前に、この友人は全てを理解するために少し時間が必要でしょう。私たちは、まだそこに辿り着いてさえいません。

しかし、これが核心です。なぜすべての人が病院だけでなく、どこでもマスクをしているのかを説明しようとする時、私たちの友人は、驚いたことに、既に何が起きているのかを知っているようです。驚いているのは彼ではなく、私たちですそれは、彼が私たちに、バイオテクノロジーとキャッシュレス・デジタル経済に関して、具体的に質問することで分かります。彼は、1980年に昏睡状態に陥る前に、聖書預言の学生だったことを覚えておいてください。彼は、御言葉を知っています。聖書を知っていて、聖書預言を知っています。そして、私たちが、今何が起こりかけているのか、すなわち売買をするために、ワクチン接種をしなければならないということを彼に知らせたとき、彼の反応は、またしても驚くべきことに、「わ～、携挙が迫っている！」というものでした。さて、ここに質問があります。なぜ彼は、このように反応するのでしょうか？なぜ彼は、不信感を持って反応しないのでしょうか？その質問に対する答えは、彼は、私たちのように事前にプログラムされていないという事実のおかげで、認知的不協和がないからです。言い換えれば、彼の客観性には、この40年の間、予測プログラミングと洗脳による歪みがないからです。数ヶ月前に「予測プログラミング」に関するアップデートを行いました。彼は昏睡状態にいたので、プログラム化されていません。彼は、洗脳されていないのです。昨日、私はジェシカ・ヘルナイスさんからの、このコメントを頂きました。彼女の名前を正しく発音していることを願います。彼女は、私たちのYouTubeチャンネルにそれを投稿し、私にとって、それは本当に、いかに大衆が洗脳され、欺かれているかを要約したものでした。彼女の投稿をお聞きください。「考えてみて下さい。...想像してみてください。そのワクチンは、大変安全なので、脅されて、接種しなければならないのです。検査しなければ、自分が感染しているかわからないほどの、致命的な病気のためです。」頼みますよ。本当です。どうしてこんなことが起きているのでしょうか？理由は実際は40年以上ですが、過去40年間、私たちはプログラム化されて来ています。これが登場したとき、私たちが「うわあ、すごい！」となるようにです。再び、カエル(frog/フログ)について話すことをお許しください。Farag/ファラグではありません、Frog/カエルです。前回、エジプトの災いの話をしました。エジプト人は、カエルを崇拝していたからです。災いの一つ一つは、彼らの神々に対してでした。彼らには、多くの神々、3,000以上の神々がいました。しかし、彼らは、カエルを神として崇拝していました。神は、「あなたがたは、カエル好きですね。大量のカエルをどうぞ。」となさいました。今回は、別のカエルについて話したいと思います。熱がゆっくりと上がっていったために、水から飛び出さず、茹であがってしまった蛙の例え話がふさわしいと思います。ただの寓話に過ぎないとは思いますが、この物語の教訓は、私たちはそんなカエルのように、自分自身を危険にさらし、世の温度に順応しているということですとここでこれは、その友人の反応の理由を説明しています。彼は、この40年間、私たちのように、この邪悪な世の水の中にはいなかったからです。ですから、私たちが、彼を突然その水へ投げ込むと、彼は、びっくりして、飛び出すのです。皆さん、もうお分かりだと思いますので、要点を言います。こんにち、多くの人が悲しいことに、、、悲しいことに多くのクリスチャンが、そのカエルのようなのです。私は驚きました。オンラインメンバーからメールをいただき、私はただ驚愕しました。非常に有名なミニストリーが、ワクチンを推進しています。なぜでしょうか。なぜなら、彼らは、長年かけて徐々に条件付けされてきたので、起きていること全てに順応してきたのです。ここに教会があります。そして、世が教会の影響を受ける代わりに、教会が世からの影響を受けているのです。ところで、これはちょうど、第二礼拝で節ごとに学ぶ「聖書の学び」、第二テモテ第3章5節の内容です。何が興味深いかご存知ですか？先走りた

くありませんが、彼（使徒パウロ）は、牧師に手紙を書いているのです。テモテは、エペソにある教会の牧師であり、これはクリスチャンたち宛の手紙です。これからどんな風になっていくのか、人々がどんな風になっていくのかを書いています。ゾッとします。身が引き締まる思いです。これが、なぜ私たちが終わりの時にいるのかという理由へと戻します。このように終わるという意味においてです。私たちはもとは戻れません。「ああ、でもあの人たちは、ミニストリーに戻りたいから、通常に戻りたいから、ワクチン接種するって言っているのですよ～!!!」それは嘘です!! それは嘘です!! 聖書預言の中の、預言的チェックリスト一覧表の中で”ビッグ3”と呼ばれるものを共有したいと思います。実に多くの預言がありますが、特にこの3つは、携挙とその後の7年間の患難時代の始まりが差し迫っていることを示しています。毎週これを言っているのは分かっていますが、私たちは大変近づいています。私を含め、誰もが考えるよりも早く携挙が起こります。もういつでも起こり得えます。私たちは、それほど近づいているのです。では、この3つを見てみましょう。まず、1番目です。シリアにいる同盟国は、北（ゴラン高原）からイスラエルを侵略し、略奪する準備ができていて、サウジアラビアと前述の湾岸諸国に抗議を受けます。興味深いのは、1980年、エジプトがイスラエルとの関係を正常化したこと、イスラエルとの完全な国交があることです。ヨルダンも、今年、エジプトに並びました。全湾岸諸国、間違いなくサウジアラビアが、言わば署名の用意ができています。これが重要な理由は、これがまさに聖書が語っていることだからです。何年も前から話していますが、イザヤ書17章1節にある預言があります。シリアのダマスカスが、完全に崩壊するという非常に具体的な預言です。「ダマスコについての託宣。『見よ、ダマスコは都の面影を失い瓦礫の山となる。』」それがイザヤ書17章1節で、私はそれが、エゼキエル38章成就のきっかけになると信じています。エゼキエル書38章とは何でしょうか？ エゼキエル38章とは、ロシア、イラン、トルコを中心の同盟国がイスラエルに侵攻するという非常に詳細な預言です。本当に興味深いのは次のとおりです。エゼキエル書38章13節、古代名のシバとデダン、こんにちのサウジアラビアとして知られている地域が、このイスラエルへの同盟国の侵略に抗議することです。どうしてそれが可能でしょうか。非常に興味深いです。ちなみに、エジプトとヨルダンとシリアは、エゼキエル38章に書かれていません。サウジアラビアが出てきますが、これは、イスラエルと湾岸諸国間の関係が正常化したに違いないことを意味します。ちょうど現在のように、です。どうかお聞きください。これは非常に重要です。私はよく、預言成就には賞味期限・有効期限がある、と言います。その意味は、こんにちの状況は5年前にはなかったということです。40年前のことは置いておいて、5年前の話をしましょう。なぜ重要なのかというと、5年前にこれが起こっていなかったから、今から5年後にも、まだ起こらないという理由にはならないのではないのでしょうか。すべての事が動いているのこの速さで？ 諺にも、『鉄は、熱いうちに打て』とあります。言わば、今ここにはある種、絶好の機会があります。こんにち預言的に起こっていることが、今日から5年後、必ずしも起こるとは限りません。預言に賞味期限・有効期限があるというのは、そういう意味です。2番目です。平和と安全、あるいは平和と無事のための飽くなき探求。安全と無事は、原語では同じ言葉です。非常に興味深いのは、私たちは中東についてそのように表現することです。「平和と安全、平和と安全。。。」パレスチナ国家、二国間の解決策、ちなみにこれはヒトラーの最終的な解決策が再梱包されたものです。パレスチナ人と呼ばれる人たちは、イスラエルとの平和を望んでいないからです。彼らは、イスラエルの破滅を望んでいます。なので、多分このように考えてください。先週の大規模なサイバー攻撃について聞かれましたか？

これは大ごとです。これはデカイです。もしも、第一テサロニケ 5 章 3 節のこの預言で 使徒パウロが言っていること、「人々が『平和だ、安全だ。』と言っている矢先に 妊婦に産みの苦しみがやってくるのと同じように、強度と頻度を増し加わり、”突然の破滅” が、彼らに襲いかかります。」その預言を、サイバーセキュリティというレンズを通して 見てみるとしたらどうでしょうか？

平和と安全：サイバーセキュリティ。または、ギリシャ語の *assfaleia* / アスファリアが 安全と訳されているもう一方の言葉を見て見ましょう。” health/健康・safety/安全” です。様相が少し変わります。さて、これが重要である理由は、ダニエル書 9 章 27 節にある非常に詳細な預言のためです。私たちは実に、預言者ダニエルによって与えられた時系があります。7 年の時系列で、同盟を固めることから始まります。それは強力で、偉大で、さらに偉大な… ヘブル語でヘクビルといい、これは私の母国語アラビア語で 同じ言葉です。この”固める”という言葉は、” 壮大なものにする、優れたものにする、より偉大にする” と訳されています。ですから、反キリストは、7 年間の和平合意を、ヘクビル＝固めるのです。その和平合意の中で、イスラエルは、和平合意の一環として 第三神殿を再建するため、神殿の山を与えられると私は信じています。その和平合意の中間点で、反キリストは、自分への崇拜を要求します。ちょっと先走ってしまいましたが、実はこれは 3 番目です。第二テサロニケ 2 章です。私たちは、これを良く話します。反キリストが、神の神殿に身を置き、自分が神であると宣言し、自分を神として崇拜するように要求する箇所です。それは 7 年間の患難時代の中間点、3 年半の時点で起こります。また、黙示録 13 章 11～18 節に、この預言もあります。獣のマークについての預言であり、この時点でそれが獣のマークである理由は、あなたがたは、、、皆さんのことではありません。” 彼ら” は、反キリストに膝まづいて崇拜し、忠誠を宣言します。それが、7 年の患難時代の 3 年半の節目に起こります。しかしそれは、その時にバイオテクノロジーが存在することを意味します。実際既に存在します。将来的な話ではありません。今あるのです。そして、バイオテクノロジーが存在する必要があるだけでなく、” 欺瞞的な嘘” も存在する必要があります。なぜなら、使徒パウロが語るように、彼らは、この強力な惑わしのせいで、その特定の嘘を信じてしまいます。神御自身が、強烈な惑わす力を送られます。それは強力でパワフルな惑わしです。非常に欺瞞的なので、彼らがその嘘を信じてしまうほどです。そして私たちには、なぜ彼らがその嘘を信じるのかが語られています。それは、彼らが” 真理＝イエス” を拒絶したからです。ですから、それが既に存在している必要があります。実際存在します。なぜなら時が来れば、大衆は売買するために、デジタル認証・識別認証を受け入れるからです。もしよろしければ、あの友人とのやりとりの場面に戻したいと思います。この 3 つに関して、彼の考えを尋ねてみましょう。私は、彼の反応は不信感のようなものだろうと思います。これが既に起きていることを信じられないのではなく、多くの人々が、これが ” 終わり” と認識していないということが信じられないのです。それから、彼はすぐに神の御言葉に向かい、読み始めて引用さえし、彼は、喜びと興奮で、賛美の声を上げることでしょう。しかし、その時彼は、これが終わりだと信じていない人たちについて、その意味を理解し始めるかもしれません。第一ペテロ 4 章 7 節。「万物の終わりが迫っています。だから、思慮深くふるまい、身を慎んで、よく祈りなさい。」ルカの福音書 18 章 8 節。イエスが仰っています。「あなたがたに言いますが、神は彼らのため、速やかにさばきを行ってください。だが、(これが私に響きます) … 人の子が来るとき、はたして地上に信仰がみられるのでしょうか。」イザヤ書 13 章 6 節。「泣き叫べ、主の日が近づく。全能者が破壊する者を送られる。」

黙示録 1 章 3 節。 「この預言の言葉を朗読する人と、これを聞いて、中に記されたことを守る人たちとは幸いである。(なぜでしょうか。) 時が迫っているからである。」

黙示録 22 章 7 節。再度、イエスが仰っています。 「見よ、わたしはすぐに来る。この書物の預言の言葉を守る者は、幸いである。」

ヨハネの黙示録は、聖書の中で唯一、それを読み、聞き、心に留めた人に祝福を約束する書物であることをご存知でしたか？そして、ヨハネの黙示録が、クリスチャンが最も恐れる書簡であり、避けているのは、興味深いことではないでしょうか？敵は成功したのですね。敵は、盗み、殺し、滅ぼそうとします。(ヨハネ 10:10) 彼は、黙示録の中にある私たちの祝福を盗みたいのです。「ええでも、それはとても世界の終焉的(アポカリスティック)です!!」厳密に言えば、ギリシャ語ではアポカリプソスです。皆さん、その言葉が何を意味するかご存知ですか？いいですか？言いますよ。それは、”啓示・明らかにする”という意味です。とても深遠ですね。黙示(啓示)して記録する=黙示録。明らかにすることです。アポカリプソスです。この言葉、”quickly/すぐに”についても話してきましたね。すべてのものが、どれだけ速く動いているかを考えると、改めてこれを言及するのが妥当だと思います。この”すぐに”という言葉は、原語のギリシャ語では、tachos/タコス。タコス料理やタコポケではありません。そうではなく、車のタコメーターの由来のタコスです。これは、RPM=1分あたりの回転数の測定です。面白いのが、時間設定は1分です。変数は、1分間の回転数です。車好きの人はご存知だと思いますが、エンジンを上げて一定の回転数(RPM)でレッドライン(越えてはならない一線)に到達すると、エンジンが吹っ飛びます。お聞きください。私が考えていることはこうです。イエスは仰っています。「私は物事が加速している時に来る。」レッドライン(越えてはならない一線)です。彼らが勢いをつけて(revving up)、物事が爆発しそう(blow up)になると、あなたがたは引き上げられる(go up)のです。実に韻が合いますね。誰か曲を作るべきです。ラップソングになります。私は皆さんにそんなことはしませんよ。しかしそれは誰かのラップソングになるでしょう。人々が言うように、「私は詩人。ただそれを知らなかっただけ。」ですね。私たちは、レッドラインにいると思いませんか？すべてのものが、猛スピードで、ご辛抱ください。皆さん、いつも私にご辛抱いただいているので、天に宝を積まれていますね。要点はこうです。今年の1月に戻ってみましょう。この12ヶ月の間にどれだけのことが起きたか考えてみてください。12ヶ月ですよ。皆さん。たった一年で。そして今度は、再度、早送りしましょう。今後の12ヶ月で、何が起こるのでしょうか？人口が、40年で指数関数的に2倍になるように、あと40年で2倍になるという意味ではありません。その何分の一かの時間で、もっと早く、もっと加速するということです。それだけのスピードで全てが動いているのであれば、今が携挙寸前だと思いませんか？なぜなら携挙は、7年の患難前に起こらねばならないからです。私は、大患難前携挙について、、、大患難前携挙に関する健全な教義についてこう言わねばなりません。あなたが大患難前携挙に関して、健全な教義に留まっていないなら、敢えて言いますが、あなたの人生は、特にワクチンに関して、不必要に恐怖に満ちたものになるでしょう。同じことを、別の方法で言わせてください。7年の患難の前に携挙が起こるのを知っていると、それがあなたを落ち着かせ、人間の理解を超えた平安があります。この世が与える平和ではなく、イエスだけが与えてくださる平安です。彼は仰いました。「わたしはあなたがたに平安を与えるために来ました。世が与えるものではありません。」(ヨハネ 14:27 参照)それは超自然的な平安です。聖霊によってもたらされる平安です。皆さん同様、私は外出時、、、正直、今は尚更、あまり外に出な

いのですが、しかし、外出すると…とても気が滅入りますね。人が考えるような理由ではありません。私は憂鬱ではありません。ただ、憂鬱な人のことを思っただけです。

私が目にするのは、入店するために指定された場所に立って列に並ぶ人たちで、マスクをつけて携帯電話を見ながら、こんな風に、「あ…前に進んだな。」と列を詰めます。冗談でしょう？ 私は、水曜日にコストコに行きました。「水曜日にコストコを切り抜けることができました。」といった方がいいですね。イウィレイ店です。私は喘息持ちなので、その通路に誰もいなかったら、、、それはコストコ・イウィレイ店ではあり得ないことですが。私は、こんな風にただ喘ぎ呼吸するのです。人々を見て思うのは、、、従業員は、それを常にずっと着用しなければなりません。それが私を悲しませ、彼らを気の毒に思います。本当に気の毒に思うのは、私が運転しているときです。お～皆さんに言う必要はなさそうですね。すみませんが、車内には彼ら自身以外誰もいません！ー(笑)ーそう思うのは私だけじゃないのですね！あ～ホッとしました！彼らを見て本当に気の毒に思います。彼らは大変欺かれ、あの嘘を信じています。だからこそ、ほとんど毎週言うことなので今週も言わせて頂きますが。私は人々を見るとき…こう言って問題にならないといいですが、地元民かハウリ（ハワイスラングで白人）、左派か右派か、共和党か民主党か、白人か黒人か、リベラルか保守かでは見ません。彼らを、救われているのかどうかで見ます。それが全てだからです。だから私の祈りはこうです。「主よ。彼らをあなたのもとへ導くために彼らの人生に、彼らの車に(笑)、誰かを送ってください。」なぜなら、よく考えてみれば、あのラッパがまもなく”鳴る時”、”鳴るとしたら”ではありません。取り残された人たちに、そんなことは問題ではありません。肌の色？どうでもいいことです。政党？それどころではありません。そんなことは問題ではありません。唯一の問題は、失われているのか、救われているのかです。イエスなのかどうか。それが全てです。だからこそ、私たちの”努力”は、理由があってそのように言っているのですが、手遅れになる前に、失われた人々に手を差し伸べるために、毎週、警鐘を鳴らすことです。だからこそ、私たちは「聖書預言・アップデート」を、15年に渡り行っているのです。それが、福音/イエス・キリストの救いの良い知らせと、”救いのABC”という、子供にでも分かる救いの簡単な説明で締めくくる理由です。福音とは何でしょうか？第一コリント15章で、使徒パウロが福音を定義しています。イエス・キリストが来られ、十字架につけられ、葬られ、3日目によみがえられたこと。（第一コリント15章）そして第一テサロニケ4章、携挙の文脈の中です。使徒パウロは、コリント人への手紙よりも前に、テサロニケ人にこの手紙を書きました。彼の最初の手紙です。「**神のラッパが鳴り響くと、キリストに結ばれて死んだ人たちが、まず最初に復活し、それからわたしたち生き残っている者が、携挙される。**」（1テサロニケ4:16-17）彼は、これが福音だと説明しています。つまり福音とは、イエスが来られ、十字架につけられ、葬られ、3日目によみがえられた。そして、彼が、私たちを引き上げ、携挙される日が来るということです。それが良い知らせ/福音です。それが良い知らせです。私たちは、祝福に満ちた希望と呼んでいます。（テトス2:13参照）しかし皆さんご存知ですか？それは祝福に満ちた希望というだけではありません。それが私たちの唯一の希望なのです。再び共有します。私が正気を保てるのは、もうすぐ、誰もが考え得るよりも早く、ラッパが鳴り響き、私たちがここを去ると知っているからです。私たちは、ここを去るのです。もはやマスクも、住宅ローンも、家賃も、請求書もなく、ゴキブリもいません。天国に、ゴキブリがいるべきではありません。シロアリも、その他すべてのものが消え去ります。それが私たちを待ち受けているとわかると、何があっても乗り越えやすくなりますね？それが

良い知らせです。救いのABCとは、救いの簡単な説明です。誰かに福音を伝えるための簡単な方法です。それは唯一の方法ではありません。一つの方法であり、必ずやらなければならないことではありません。そうではなく、どちらかという、こういう流れですよ、という感じです。「こうなっているんだ。」強調してすみません。ちょっとペンテコステ的でした。私はこのようにしてキリストのもとへ来たのです。「何をやる必要があるのか？」というようなものではありませんでした。何もする必要はなかったのです。イエスが全てなさいました。彼が全額支払われました。「完了した。」(ヨハネ 19:30) ほ~「ちょっと待てよ。私は罪を犯してしまった。救い主が必要だ。」とあなたが認める/Admitのこと。それが 認める/Admit のAです。

ローマ人への手紙3章10節にこうあります。

「正しい者はいない。一人もいない。」(ローマ3:10)

あなたは良い人かもしれませんが、決して十分ではありません。ローマ人への手紙3章23節が理由を教えてください。

「人は皆(私たちの誰しもが)、罪を犯して 神の栄光を受けられなくなっています」(ローマ3:23)

私たちは皆、生まれながらの罪びとであり、天の御国に入るために新生しなければならないからです。ローマ人への手紙6章23節は、誰かと福音を分かち合うときにとっても良い聖句です。

言い方が悪いのですが、先に来る悪い知らせと、次に来る良い知らせがセットになっているからです。時に、私たちは大きな間違いを犯します。それは、いかに全ての人が罪を犯したかということ、指摘しないことです。私たちは皆罪を犯しました。神の律法を破ったのです。そして神の律法を破ることには、罰則があるのです。その罰則は、死刑宣告です。

「罪が支払う報酬は死です。…」(ローマ6:23a)

そして、自分が罪を犯したこと、その罪の報い、その罪の罰則が死だと悟って把握したとき、聖霊が、家庭教師のように彼らの手を取り、彼らを非難する律法から、彼らを救う救い主のもとへと、連れて行ってくださるのです。そして、それが良い知らせです。

「しかし、神の賜物は、わたしたちの主キリスト・イエスによる永遠の命なのです。」(ローマ6:23b)

B: あなたの心で、イエス・キリストが主であると 神がイエスを死からよみがえらせたことを、Believe/信じる。ローマ人への手紙10章9~10節、

「…心で神がイエスを死者の中から復活させられたと信じるなら、あなたは救われるからです。」(ローマ10:9)

「救われるかもしれない、救われうる、救われるべきだ。可能性はある。陪審員が出てきた。どうなるだろう。」そうではありません。使徒ヨハネが、聖霊によって書いています。

「永遠のいのちを持っていることを、あなたがたに分からせるためです。」(第一ヨハネ 5:13)

Cは、非常にシンプルです。C: 主の御名を Call/呼び求める、Confess/告白する。再度、ローマ人への手紙10章9~10節、

「口でイエスが主であると公に言い表し、心で神がイエスを死者の中から復活させられたと信じるなら、あなたは救われるからです。」(ローマ10:9)

理由はこうです。

「実に、人は心で信じて義とされ、口で公に言い表して救われるのです。」（ローマ 10 : 10）

そして最後に、ローマ人への手紙 10 章 13 節、私のお気に入り、決定打です。

『主の名を呼び求める者は誰でも救われる。』（ローマ 10 : 13）

大変簡潔です。締めくくりの前に、あと 2、3 分頂き、地元メンバーとオンラインメンバーからの証を分かち合いたいと思います。救いの ABC を使って、失われた人々に手を差し伸べるための、彼らの創造的な方法です。前置きしておきたいのですが、そうすることで 私たちが求めているのは、時間があるうちに、人々を励まし、イエスを人々へ、また人々をイエスのもとへ導くことだけです。私がそういう理由は、JDFarag.org をフォローアップ用として利用している人が多いことを理解しているからです。それは結構なのですが、どうかお聞きください。聖霊は、何かや誰かではなく、ただイエスを宣伝するために来られたのです。それだけです。イエスの御名の前に、他の名前を置こうとする時もしくは、これはどうでしょうか？ 私たちの教派名。牧師の名前。救われるために、人間に与えられた唯一のお名前であるイエスの御名の前に、誰の名前を置こうとすると、聖霊は仰います。「すみませんが、私はそれには関わられません。私は、人々をイエスに向けるためだけにここに遣わされたのです。さて、なぜ私はそのことをここまで強調するのでしょうか？ 理由は、こんにちのクリスチャンに起こっている事を見て、私の心は悲しんでいるからです。聖霊を悲しませていると思います。私がこのミニストリーに関して言われないことは、「この人たちにとってイエスが全てだ。」ということです。「彼らは、イエスの話しかしない。」と。その御名前には力があります。だからこそ、誰かと会話をしているイエスの御名前を口にすると、すべてが止まってしまうんですね？ 私の法的名称は、JD ファラグです。本名はワヒド・ファラグですが、J.D. を思いつきました。それはイエスの弟子 / Jesus Disciple の略です。当時は営業をしていて、売り上げの手数料を頂いていたので、人々が私の名前を覚えてくれ、戻ってきたときに私を尋ねてくれることが重要でした。人々は発音はおろか、ワヒドを覚えられないので、簡単なもので、尚且つ、信仰を分かち合う機会を与えてくれるものにしようと思いました。それが J.D. イエスの弟子 / Jesus Disciple です。そのようにして思いつきました。これを聞いてください。私はバイヤーの机の向かい側にいます。彼は私の名刺を見えています。ワヒド・J.D.・ファラグと書いています。「どうやってワヒド・ファラグから JD が来たんだ？ 何の略だ？ ジャック・ダニエルか？」—(笑)— これ実話なんです。私は、「ああどうしよう。」という感じでした。彼は、まだ契約にサインしていません。どうしましょう！？ 私は「ジャック・ダニエルの略ではありません。イエスの弟子の略なのです。」と答えました。そして、彼らはずっとこんなことを仰います。「私のフランス語をお許しください。」ちなみに、それはフランス語ではありません。—(笑)— そして突然、彼らの態度や表情、物腰が変わってしまうのです。「ああ、あなたは、その中の一人なのですね。」と。なぜそうなるのか皆さんご存知ですか？ あなたは今、救われるために、人間に与えられた唯一の御名前を宣言したからです。その御名前には力があり、彼らは、それを受ける側にいるのです。そうです。そして彼らに突きつけられているのです。一拍手一因みにそれが理由です。これは楽しいです。皆さんにもできます。もしかしたら既になさっているでしょう。誰かが無駄にイエスの御名前を使うとき、それは私たちをととても苦しめます。私は、昔はもっと攻撃的でした。今もそうだと仰る人もいますが。若い頃に、誰かが私のイエスの御名前をそのように使うと、私はこう言いました。「すみませんが、質問があります。なぜ私のイエスの御名前をそのように使うのに、仏陀やモハメッドの名前を使わないのですか？ 私が、理由を教えましょう。彼らは神ではなく、イ

イエスが唯一救える神だからです。これから私が始めようと思っ

ていることをご存知ですか？ いいえ、やめておきます。...そんなことをすれば、皆さんよりずっと前に イエスに会うことになるでしょうから。しかし、モハメッドの名前や仏陀の名前を使うのはどうですか?... 機会均等の冒涇者になったらどうですか？」冗談を言うつもりはありませんでしたが...どうかどうかお願いします。

私たちは皆、イエスが全てです。人々にイエスを近づけ、人々をイエスのもとへ導くのです。数週間前に発表したウェブサイト「Themastersmail.org」から始めたいと思います。概要欄にリンクがあります。私の親愛なる友人、マスターズタッチ・プリント&メール社のジムと クリス・コートです。彼らは、皆さんが提供した5人の宛先に、無料で匿名に、救いのABCが載ったメッセージが送付されるように設定しました。すでに2通のメッセージを送ったそうです。これが3通目です。写真を見ると、ちょっと違って、封筒に入ったカードのようになっています。それはクリスマス直後に郵送されます。意図的にそうしています。ウェブサイトに行き、更にもう5人の名前を入力すると、この郵便物が発送されます。そして再度、フォローアップしてください。彼らに連絡してください。そして、思い切って『それを送ったのは私だよ』と言ってみてください。「あなただったのか!!」と言われるか、もしかしたら、彼らがあなたに連絡して来るかもしれません。テネシー州のオンラインメンバーからのこの証は、私たちがよく受け取るものです。彼女には、コネチカット州とデラウェア州に5人のいとこがいて、救いのABCと一緒にクリスマスカードを郵送しようとしていました。そして、ちょうどその日曜日に、私がこのメールサービスについて共有したので、彼女は既にどの5人に送るか決まっていました。「主よ、ありがとうございます。」と仰っていました。先週の土曜日、私は、ノーマンとマディの結婚式司式をする特権に与りました。そして、式のプログラムの中に、彼らは家族や友人へのメッセージと共に、救いのABCを載せました。素晴らしいですね。改めて、おめでとうございます。一拍手ー アイダホ州のホームスクールマザーが、彼女の娘のアビーからのカードを送ってくれました。彼女はこう書いています。「メリークリスマス。私の名前はアビー、5年生です。あなたは、イエスがあなたを愛していることを知っていましたか？ 本当です。そして彼の家族としてあなたを歓迎したいと思っています。あなたがしなければならないのは、あなたが罪びとであることを認め、イエスが主であると信じ、主の御名を求めることだけです。あなたができるもう一つのこと

は、”jdfarag.org”に行くことです。このウェブサイトには、救いのABCがあります。聖書を持っていますか？ イエスはあなたを愛しています。愛をこめて、アビーより。」一拍手ー なんと素晴らしいのでしょうか。次は、コートニーさんからです。唇顎口蓋裂を持つ10歳の息子、イアンくんがおられます。今年彼は、3回の大手術を受けました。経過状況があまり良くないので、イアンくんのために祈りましょう。彼女はこう書いておられます。「打ちひしがれるような打撃を次々と受け、最終的に彼は前歯を全て抜かれてしまいました。しかし彼は、一度もこの窮地に不満を訴えませんでした。彼は、それよりも、主治医がイエスのことを知っているのかどうかを気にしていました。診察と手術のたびに、彼は医師にイエスのことを必ず共有しました。後日、彼は母親の私に、自分に勇気を与えてくれたのは、ファラグ牧師だったと言いました。病院までの片道2時間の往復で、私はあなたの説教を聞いていました。(私の説教を聞くにはそれくらいの時間が必要ですね 笑) イアンは道中、喜んで座っていました。私は、彼がそれを聞いているとは知らなかったのです。」次は、すごいです。JBからです。彼女とは、実は何年来の良い友人です。彼女は日本にいて、主を愛しています。実は彼女は、私たちの日本語翻訳者の一人で、説教を日本語に翻訳しています。彼女は日本の新

しい信者について話してくれました。彼の名前は、たいちさんです。救いのABCを使って、福音を分かち合おうとされています。舞とJBは、日本語翻訳チームで、日本の各家庭の郵便ポストへ救いのABCトラクト配布にも積極的に取り組んでいます。また、ABCを使って、福音を人々に共有するために、長い時間を費やしています。これが写真です。この新しい信者、たいちさんからです。彼は、10,000個のポケットティッシュを購入しました。今や大変必要なものですね。救いのABCが入ったポケットティッシュを、日本で配布しています。次は、スコットランドの若手宣教師、マレン・ファーさんからです。「あなたが動画の最後で、鼓舞されて御言葉を広める人々のことを共有されている箇所が、とても好きでした。私はまだ15歳ですが、聖霊が私の世代に福音を分かち合うために導いてくださるような感じました。学校のみんなにどのように伝えるのが一番いいのか、しばらく考えました。そして最終的に、携帯電話に表示された人たちに”救いのABC”の写真をエアドロップすることに決めました。これは、私が発信している写真です。」なんと素晴らしいのでしょうか。次の写真は、カリフォルニア州ベンチュラのオンラインメンバーからで、歴史的な干潮時に、砂に描いたものです。砂の上に線を引くとは、こういうことですね。次は、ジョージア州のリリアンさんからです。彼らが「ローリングビルボード」と呼ぶもので、車の側面に貼るマグネットを作られました。次は、ローズマリーさんからです。ABCと共にクリスマスオーナメントを配布されています。次、ケリー・フィルブリックさんとご主人は、中古品販売店で聖書を購入し、表紙に個人的にメモを書き、ABCのコピーを入れ、ホームレスのために必需品を購入し、ジップロック袋に入れて配布されています。次は、カリフォルニア州ハンティントンビーチ出身で、コロラド州ラブランドに移住された4人家族のソルティソウルクルーというお店からです。彼らは、焼きたてのパンにABCのエイブリーラベルを付けておられます。お〜！美味しそうですね。これは、オクラホマシティメトロエリアで、ユーコンレビューとマスタングニュースを運営するポーラ・セトルとご主人ジョンの写真です。ポーラは両方でコラムを書いていて、彼らの新聞にABCを掲載しています。次は、地元のメンバーで、Magically Yours Printingのオーナーのマイケルとデビ・ピロリアさんからで、ABCカードを印刷して配布されています。次は興味深いです。アシュリーさんからです。彼女は聖書を製本し、送り返すときにABCを同封されています。彼女は、モルモン書の製本依頼を受け取ったことを分かち合ってくれました。そして祈り、ご主人と話した後、彼女は、依頼を受けることにし、救いのABCを同封することにしたそうです。良いですね〜！！次は、ネブラスカの小さな町で、マッサージ療法を行なっているケリー・ラリーモアさんからです。筋肉緩和のサンプルやメモカードと一緒にABCを並べ、無料サンプルを楽しんでもらおうとしています。ああ、私にはさっきのパンとこれが必要です。カナダのローラさんは、救いのABC入りコーヒーカードを作成しました。これは大変クリエイティブで、前面にはコーヒーギフトカードと私たちのYouTubeチャンネルのQRコードが入っています。裏面には、「救いのABC」と無料の聖書アプリへのQRコードが記載されています。彼女はこれを、街中やスーパーの前、信号付近でお金や食べ物を求めるホームレスの人たちに渡すつもりだそうです。ミシシッピ州のサミーとロンダ・ピーチさんは、新しい”救いのABC”の看板を彼らの所有土地に設置されました。これは彼らが2012年に立てた「イエスがまもなく来られる」という看板の補足版です。彼らは2012年、画面のこの写真のような看板を立てました。すると、この牧草地にアパートを建てるのではという噂が出ました。彼らはこの”Coming Soon/まもなくやって来る”という看板を、1週間ほど出したのです。テレビ局や町長から「何が来るのか？」という電話がかかり、ちょっとした騒ぎになりました。それが、

この看板を完成させた途端、誰も気にしなくなりました。更に面白くなります。2019年10月、嵐がこの看板を吹き飛ばしました。数週間前まで、回収して保管していました。そして彼らは、それを元に戻すべきだと感じました。そこで彼らは、バプテスト教会とメソジスト教会の向かいにある交差点を選びました。そして金曜日、彼らがすでに宣伝していたイベント”Coming Soon/もうすぐやって来る”に関して何をすべきか伝えるため、「救いのABC」の新しい看板を掲げました。この看板は、教会の交差点から約4分の1マイルのところにあるので、そこを通る98%が目にするようになります。そして、そこは非常に交通量の多い道路です。サミーとロンダは、少なくとも10年前から「聖書預言・アップデート」を見ていて、これは福音とともに、アップデートを人々に伝えるのにとても良い方法だと感じておられます。次、ダーリーンとドミニク・カプチャーリさん。お名前の発音が間違っていなければいいのですが、違っていたらお許してください。彼らはミシガン州のサウスロックウッド出身で、世界中の救いのABCのビルボードに感銘を受けられました。そして、自分たちの地域社会に影響を与えるために何ができるか、主に尋ねました。少し手を加え、これが彼らが考え出したサインです。今や、ご自宅の前庭に常設されています。『永遠のいのちが大事だ』『ヨハネの福音書3章16節』そして救いのABC。なんてカッコいいんでしょう？ 最後になりましたが、3~4週間前、キーホルダーを作っているオンラインメンバーのことを覚えていますか？ 彼女のお名前はロレーヌ・ベルナップさんで、今週、私たちにメールを下さいました。彼女はこの写真を送ってくれました。壁の地図には、彼女がリクエストを受けた8州を除く全ての州が写っています。今週の時点で彼女は、救いABCのキーホルダーを3,000以上を作られたそうで、その数は今も増え続けているそうです。主を褒めたたえます。皆さんに共有したいと思いました。皆さんの励みになればと思います。はい。主を褒めたたえます。一拍手 最後の一つ…今日は”最後の一つ”が上手くいきましたね。これが最後です。私はこれを皆さんに委ねます。そして皆さんに、考えていただきたいのです。よろしいですか？ 私たちが励まされる(encouraged)というとき、それは勇気(courage)を持つことです。勇気です。それがこんにちの私たちへの召しだと思えます。勇気を持つのです。強く、勇気を持ちましょう。神は、ヨシュアに仰いました。

恥づかしがったり、うずくまったり、後ろに縮こまったりせず、勇気を持つ「強くあれ。雄々しくあれ。恐れてはならない。おののいてはならない。」(ヨシュア 1:9)

て、福音を伝えましょう。気分が良くなりました。それが最後でした。素晴らしいですね。ご起立ください。祈りましょう。

主よ、どうもありがとうございます。ああ、主よ、どうもありがとうございます。主よ、聖書預言に感謝します。物事が起こる前に、何が起こるかをあなたの御言葉で 私たちに教えてくださり、ありがとうございます。ですから、それが起こり始めると、信者は身を起こし、贖いが近づくことを知り、未信者は信じるのです。(ルカ 21:28 参照) 主よ。オンラインでご覧の方、あるいはこの礼拝に来られている方で、あなたを呼び求めたことがなく、あなたを信じたことがなく、あなたの御前で罪を認めたことがない方のために祈ります。今日が、彼らの救いの日になりますように。そして主よ、あなたがなさってくださっている事すべてに感謝します。主よ、オンラインメンバーの皆さんのことを、心からあなたに感謝します。彼らの勇気と創造性、そして彼らがしている全てのことが、主よ、地球の果てまで届きますように。イエスの御名によって祈ります。アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7